

海洋漁業科学館 中期経営目標 取組状況（平成27年度）

中期経営目標（実施期間 H27～H29）

- ① 入館者を3年間で5%増加させます。
- ② 利用者アンケートによる満足度は、3年間で95%以上に高めます。
- ③ 利用者1人当たりの一般財源投入額を3年間で5%削減します。

1 中期経営目標の進捗状況

測定指標	基準値 (H25)	実績値 (H27)	目標値 (H29)
① 入館者数	6,206人	6,178人	6,520人
② 利用者アンケートによる満足度	92%	97%	95%以上
③ 利用者一人あたりの一般財源投入額	509円	495円	484円

2 平成27年度における主な取組内容

(1) 施設の利用促進及びサービス（満足度）向上に向けた取組

① 入館料の無料化

- ・これまで、高校生以上は入館料200円（団体利用は160円）を徴収してきましたが、平成27年度から無料化しました。
- ・無料化については、奥能登地区の「道の駅」や「国民宿舎」、のと里山海道の高松パーキング等で掲示するチラシ、地元能登町の広報紙（町内全世帯配布）や町内の回覧板において周知を図りました。
- ・金沢市及び周辺小学校（77校）へ案内文書を送付し、金沢方面からの利用者増を図りました。

② 他の機関との連携

- ・のとじま水族館や能登町内の公民館、のと里山空港（クリスマスイベント）に出向き、海藻しおり工作等の出張教室を開催するとともに、併せて当館のPRも行いました。

③ イベント等の開催

- ・通常の工作教室に加え、夏休み期間中に親子による帆掛け船工作、貝殻ローソク工作等の工作体験教室を開催しました。
- ・「コイをすくってみよう」、「ヤマメの卵を育ててみよう」等の実際に生き物と接しながら魚の知識を学ぶイベントを開催しました。

(2) 施設運営の効率化に向けた取組

- ・節電・節水等の経費削減により、効率的な施設運営に努めた結果、施設管理費が減少しました。（H26年度比△529千円）

3 平成28年度における取組内容の見直し等

- ・実際に生き物等と接しながら魚の知識を学ぶイベントや、他の機関と連携した出張工作教室の開催回数を増やします。
- ・ホームページによるイベント等の情報提供を迅速に行いながら、施設のPRや利用促進を図ります。

参考資料

1 施設の利用状況

(1) 利用指標（利用人数、稼働率などの状況）

指標	H25	H26	H27	備考（増減理由等）
利用者数	6,206 人	5,932 人	6,178 人	10 月以降の天候が安定していたため、入館者が増加した。

2 収支の状況

（単位：千円）

		H25 決算	H26 決算	H27 決算	H28 予算
歳出	職員費	4,698	4,738	3,657	4,151
	施設管理費	3,587	3,546	3,017	3,347
	工作教室開催費	42	13	39	30
	計	8,327	8,297	6,713	7,528
歳入	入館料	469	456	0	0
	一般財源	7,858	7,841	6,713	7,528
	計	8,327	8,297	6,713	7,528

3 利用者 1 人あたりの一般財源投入額

		H25	H26	H27
一般財源投入額 ①		7,858 千円	7,841 千円	6,713 千円
職員費を除いた額 ①'		3,160 千円	3,103 千円	3,056 千円
利用者数 ②		6,206 人	5,932 人	6,178 人
利用者 1 人あたりの一般財源投入額 ①÷②		1,266 円	1,322 円	1,087 円
職員費を除いた額 ①' ÷ ②		509 円	523 円	495 円